



みまっぱ子育て通信 第11号

2024年1月30日
みまさか子育てカレッジ実行委員会 発行
美作大学／美作大学短期大学部
岡山県津山市北園町 50
TEL 0868-22-7718
<https://mimasaka.jp/>

幼児の親子ひろば「めばえ」

今年度、第4回目の親子ひろば「めばえ」です。3歳未満児の子ども達と保護者の方に、ゆったりと過ごして頂く少人数制のひろばです。木の玩具や手作り玩具を使った遊びや、体を使った遊び、季節のお話などを親子で楽しみませんか。保育を学ぶ大学・短期大学部の学生と教員が、皆様のご参加をお待ちしております。地域の子育て広場としての役割を担えるよう、今後も開催を計画してまいります。

「めばえ」の流れ

開催日 2024年1月30日(火)

10時～

お部屋で自由あそび

学生の手作り玩具・木の玩具・運動遊び・こま製作など各コーナーで自由あそび

10時40分～11時

教員と学生によるわらべうた・手遊び・体操などのお楽しみ

場所:美作大学本館多目的ホール

美作大学短期大学部の教員2名が常駐し、3歳未満児の遊び環境の中、子ども達の主体的な遊びを見守り、育児相談等に応じます。本学学生が、ボランティアで参加します。

次回「めばえ」開催予定月
2024年夏頃

場所:美作大学本館多目的ホール
津山市社会福祉協議会様からのメール配信と
本学HPにて日時をお知らせいたします。

はぐくみ

*このコーナーでは大学の教員が、保育の専門的視点から子育てに関するメッセージをお届けします。

子どもは、暫定的に言語のルールを作り出し、ことばを使ってみる、ということを繰り返しています。暫定的なルールは、次第に、確固たるものとなっていく、言語を習得することになるのです。子どもの特有の言い間違いは、まさにこの過程で引き起こされます。

では、小さな子どもは、どうやって、おおまかな言語のルールを形づくるのでしょうか。

このことについて近年、「オノマトペ」との関連が指摘されています。言語がもつ特有のリズム、意味と音の結びつきを「オノマトペ」を通じて学び、それが、おおまかな言語のルールを理解することに役立っているのではないかと、いうのです。

翻って、私たち大人が子どもと接するとき、たくさんの「オノマトペ」を使っています。それも、普段は使わないような、やや特殊な形の「オノマトペ」です。例えば、歯磨きすることを「シャカシャカする」と表現したりします。

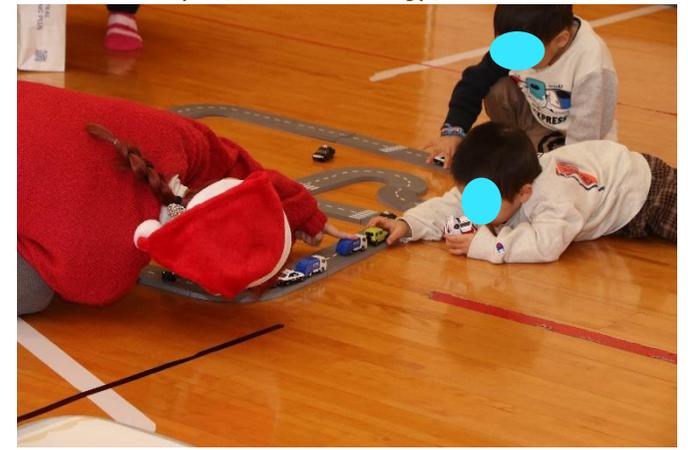
大人は、子どもがわかりやすいのではないかと考え、「オノマトペ」を使いますが、そのことは、小さな子どもが、おおまかに言語のルールを理解することにも役立っているのかもしれませんが。

*耳で聞いた音を言語化したもの(例えば「ドスン」と様子や状態を言語化したもの(例えば「のろのろ」)を総称してオノマトペと言います。

美作大学生生活科学部児童学科児童学科 講師 井上功太郎

2023年12月20日開催
みまさか子育てカレッジ
親子広場「めばえ」

2024年1月30日
みまさか子育てカレッジ実行委員会 発行
美作大学／美作大学短期大学部
岡山県津山市北園町 50
TEL 0868-22-7718
<https://mimasaka.jp/>



- ・今回はタンブリンやマラカスなど楽器のコーナーが登場。学生が音を鳴らして誘いかけると、興味津々で触れたり叩いてみる姿もありました。
- ・木製玩具のコーナーは今回も人気でした。
- ・ミニカーコーナーでは、クルマと同じ目線になって走らせてみたり、それぞれが好きな遊び方を見つけていました。

- ・続けて来ていると、同じ玩具でも遊び方が変わっていて、成長が感じられました。
- ・保護者同士で子どもの姿をきっかけに、交流ができました。



保護者の声



- ・想定をして準備したが、実際に関わると“こうした方が良かった”と振り返ることができました。
- ・保護者さんとお話できたことがうれしかったです。



学生の声

クリスマスが近く、「ジングルベル〜♪」と学生たちの歌遊びも楽器を使って楽しい雰囲気。歌や楽器のリズムに合わせて親子で揺れたり、手を叩いたり…と穏やかな時間でした。